

開館40周年記念企画展
アイヌ工芸品展
「現れよ。森羅の生命——
木彫家 藤戸竹喜の世界」
熊をはじめとする北の動物たちからアイヌ文
化伝承者の等身大の彫像まで、藤戸竹喜
(1934)の主な作品をとおして、創作活動
の軌跡としての背景をたどりませう。



「鹿を襲う熊と狼」 藤戸竹喜 作

開館40周年記念・カナダ建国150周年記念企画展
「カナダ先住民の文化の力
過去、現在、未来」
カナダは2017年に建国150周年を迎え
ました。同国と先住民との関係の変化に着目
しながら、多様な先住民文化の歴史と現状
未来を紹介いたします。



北西海岸先住民トリングットの儀礼用
かぶりもの

年末年始展示イベント「いぬ」
2018年の干支である「いぬ」をテーマに、み
んぱく所蔵の資料や写真を展示し、世界各地
の「いぬ」を紹介します。



張り子人形(犬張子)

開館40周年記念学芸展
「世界のフィールドからみんなくへ」
本館の収蔵品、展示品の母体をつくりあげた
フィールドワークや収集作業の様子を、本館
の各展示場に展示する当時の写真から紹介し
ます。

連続講座
「みんなく×ナレッジキャピタル
フィールドワークを語る」
この秋開館40周年を迎えたみんなくは、展示
を生み出すもとなった、数多くのフィー
ルドワークについてお話しをさせ、これからの
みんなくは、興味をもっていたら、これからの
機会にぜひともお話しをさせたいと思っ
ています(全6回)。

「太平洋を歩く」
カワア飲みから日本人探検家まで」
日時 12月13日(水)19時～20時30分
(18時30分開場)
講師 丹羽羽生(本館准教授)

「鶴岡技術の共通性と相違性」
日時 12月20日(水)19時～20時30分
(18時30分開場)
講師 卯田宗平(本館准教授)

お申し込み・お問い合わせ先
一般社団法人ナレッジキャピタル
06・6372・6530

みんなくセミナー
日時 12月16日(土)13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)
第475回
オラン・アスリの家族
—— 母系制・妻方居住・一夫多妻
講師 信田敏宏(本館教授)



フィールドワークでお世話になった家族と
信田教授(左端)

みんなくワークショップ
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地
域(国)の最新情報「みんなく」の展示資料について分かりや
すくお話しします。

12月3日(日)14時30分～15時15分 本館第7セミ
ナー室、企画展示場
カナダ先住民の文化の力——過去、現在、未来
話者 岸上伸啓(本館教授)

12月10日(日)14時30分～15時 本館第3セミナー室
「仕立物いたします」
話者 森明子(本館教授)

12月17日(日)14時30分～15時15分 本館第7セミナー室
目に見えない世界を歩く
「全盲」のフィールドワーク
話者 広瀬浩一郎(本館准教授)

12月24日(日)14時30分～15時15分 本館第7セミナー室
みんなくシンボルマークをえがく(再)
話者 山本泰則(本館准教授)

※申込不要 参加無料(要展示観覧券)
ただし、16日(日)、17日(日)、24日(日)は展示観覧券不要

刊行物紹介
■西澤治彦、河合洋尚 編
『フィールドワーク
——中国という現場、人類学という実践』
風響社 3,600円(税別)

調査が可能となって30年。変貌し続ける中国に向き合い、様々な主題を掲げ、新たな方法を模索し続けたフィールドワーカー達。本書は、老壮青それぞれの立場で描く実践の記録であり、新たな人類学への大いなる挑戦である。

みんなくミュージアムパートナーズ
「点字体験ワークショップ」
目で読む文字から手で読む文字へ、点字で異文化コ
ミュニケーション！点字体験ワークショップを開催
します。

日時 12月9日(土)12時～15時30分
会場 本館エントランスホール
※申込不要、参加無料

●休館日のお知らせ
年末年始は12月27日(水)から1月4日(木)まで休館し
ます。年始は1月5日(金)から開館します。

※各イベントについてくわしくはみんなくホームページ
をご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝
を除く)です。

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会

友の会講演会(大阪)
会場 本館第5セミナー室(定員96名)
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般5000円
第473回 2018年1月6日(土)13時30分～14時40分
みんなく名誉教授シリーズ
日本文明の夜明け——梅棹忠夫と三内丸山遺跡
講師 小山修三(本館名誉教授)

一九九三年に発見された三内丸山遺跡の六本柱の巨大モ
ニユメントは、小規模な狩猟採集段階にあったとされて
いた縄文時代の社会の在り方の再考をつながりました。
梅棹さんはこの遺跡を訪れたあと、「都市的性格が強く、
その中心となったのが神殿であった」と述べました。日
本の歴史を文明という一本の線上で捉えようとする、こ
の大胆な仮説の成立過程とそれがその後の研究の展開に
どのような影響を与えたかを考えます。

※講演会終了後、講師を囲んで懇談会(40分)をおこないます。
第474回 2018年2月3日(土)
タヒチとイースター島——楽園と崩壊の対比
講師 印東道子(本館教授)

東京講演会
第121回 2018年1月27日(土)13時30分～14時40分
「北東アジア地域研究拠点関連」
カザフの食と儀礼——ひとの一生を彩る草原の恵み
講師 藤本透子(本館准教授)

会場 モンペル御徒町店4Fサロ
ユーラシアの広大な草原地帯で暮らすカザフの人びと。
遊牧民であった伝統を受け継ぐ彼らの食事の特徴は、乳
製品や肉料理の種類の多さです。牧畜の年間サイクルと
深く関わり、夏には乳製品づくり、冬には肉製品づくり
と季節ごとに食は大きく変化します。また、人生の節目
にも、子どものすこやかな成長や幸せな結婚生活などへ
の願いを込めて、草原の恵みを活かした料理がふるまわ
れます。本講演では、カザフの人びとの多様な食文化と
食に込められた想いについて紹介いたします。

※講演会終了後、講師を囲んで懇談会(40分)をおこないます。
※要事前申込(定員60名、会員無料(会員証提示)、
一般5000円)

第90回民族学研修の旅
インドネシア、ニアス島と
スマトラ島北部の住まいを訪ねる
2018年3月10日(土)～18日(日)9日間